



新型ヘリ導入！

西日本防災システム

2015 01 21

川崎重工業が、神戸市に川崎式BK117C-2型消防ヘリコプターを納入したと発表したようです。同C-2型を消防・防災ヘリコプターとして納入するのは9機目だそうで、既存のBK117消防ヘリコプターの更新機として、神戸市消防航空機動隊に配備されるんだそうです。川崎式BK117ヘリコプターは、川崎重工と欧州のエアバス・ヘリコプターズ(旧メッサーシュミット・ベルコウ・ブロウム)が共同開発したヘリコプターで、物資・人員輸送、消防・防災、警察、ドクターヘリ、報道など、多用途で活用されている中型双発機なんだそうです。

このBK117は、機体後部に大きな観音開きドアを備え、患者などの搬出入が容易にできるほか、広いキャビンスペース、コンパクトなボディと機動性の良さなどから、消防・防災用、救急医療専用機としてニーズが高いんだそうです。BK117は、2015年1月21日現在、川崎重工分で165機、エアバス・ヘリコプターズ社納入分を合わせると全世界で約1100機以上納入されているそうです。



こんな勇姿だそうです



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 